

職員による自己評価

A 環境面

市の基準には沿っているが、運営上の支障を感じている。以降は事業主の判断と責任に依る。

B 児童への支援内容

時間的な制約や人員不足により所定の業務をこなせてはいる。形式的なものに陥っている感はあるが、努力はしている。

C 関係機関との連携

特に新年度の多忙な時期、得られる情報を私たちに得る工夫を講じている。それを問う立場にいる方がいらっしゃるのなら、サマリーのようなものを位置付けて頂きたい。

D 保護者への説明責任・信頼関係

1 週間で 7 日間開催のため、保護者会の運営は時間的に難しい。

E 非常対応

身体拘束については「行わない」と言う共通認識であるため、テーマとして扱っていない。

保護者による評価

A 環境面

行政の指針に沿った設置であり、ご理解を頂いている。

バリアフリーについての意識・認識には及んでいない。

B 児童への支援内容

プログラムには満足いただけている。

障害のない児童との交流がないが、そうした交流を望まない保護者様からの意見もある。必要論を訴える方はいなかった。

C 事業所からの情報発信

父母会設置については現状ないが、一部必要論はあるものの具体的な内容はない。

D 非常対応

市の指針通りマニュアルも備えてある。避難訓練も実施済みである。が、見えにくい部分であり、改めて問われ気付かれない方が多かったようである。

事業所内での分析

【共通点】

- ・事業所運営については、行政の指針に沿っているため異論も不安も生じていない。
- ・療育面では出来得る限りの活動報告を行っており、しっかりと保護者サイドでは受信して頂いている。

【相違点】

- ・現場では判断のし切れない事業主に対しての課題が提示されることがある。
- ・これまでに講じていなかった「障害のない児童との交流」や「保護者会」については意見が分かれる。それぞれの背景や個人情報の観点から設置反対の意見にも十分考慮していきたい。これまでに試みはあったが方向性の違いもあり、目的が散漫になることが考えられるため推し進めることはなかった。
- ・非常時の対応など日頃目に着き難いものについては、避難訓練も実施しているが「実施報告」を家族に対して発していなかったため保護者に不安を生じさせてしまった。

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

・極力、法令遵守のもとに運営をしているため、基本ベース（最低限のところ）では保護者様からの不安は届いていない。

### 事業所の改善点

・対応はこまめに行っているものの、疾患に対して、児童発達に関する専門的知識が不足している。

### 事業所の改善への取り組み

日頃の運営・対応、そして療育については保護者様のご理解・ご協力のもと努めさせて頂いている。今回の「保護者等向けの評価表」の項目に関しては周知されていなかったものや設置されていないもの、また関心の及ばなかったものについては「いいえ」と回答されていることが多く見られた。これらは必要なものと考えてなのか、また要望されての回答と受け止めるべきか思案している。目に見え難いが避難訓練などは実施の実績はあるので、安心の提供のために保護者様に発信していくべきものと位置付けていく。

マンパワー（人員の充足、質の向上（学習・研修の機会））は、事業主の経済上の判断でなく、行政からの必須項目として取り上げて頂くなど組織的・業界的に先を見据えた取り組みがなされるように働きかけていきたい。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

問題を提示くださった保護者様の意見に対しては課題として取り組んでいきたい。一方で大勢を占める「問題なし」との回答は、「放デイ」の捉え方が未だ「居場所作り」＝「預かりの場」と思われる方が多いと推測される。問題を提示くださった保護者様の中にもご自分の勤務の都合で通所の日程・時間を頻繁に変えてこられる方がいらっしゃいます。評価項目が現状から比して高度な内容となっているように思われます。療育の内容はもとより、「環境・体制整備」の項においても活動スペースは指針通りですが「狭い」と懸念される方がいらっしゃるのは何を元にそのように思われたのか。また職員の専門性については特別な規定がない中で、一部の回答に対してトーンダウンしてしまうスタッフがおります。更に回答者は「バリアフリー」と言う言葉が出てきていること自体に困惑されているようでもあります。事業所としても、「スロープ」は本来設置されているべきもので不備なのではないかとの疑念を抱かせる設問のようで困惑しています。またこれらは事業主の権限・裁量によるところが多く、「箱」や人員に関しては与えられる中でしか出来ない現状であります。

「放デイ」は児童の為のモノであって、保護者、学校、事業者、そして行政が評価・改善を重ね、より良き施設となるよう努めるものと考え、事業所の負担が大きく対処に苦慮いたします。

事業所名 岡喜児童デイサービス 弥生台

担当者 石川 富和